

## 平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月7日

上場会社名 不二ラテックス株式会社

上場取引所 東

コード番号 5199 URL <http://www.fujilatex.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊藤 研二

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役執行役員財務部長 (氏名) 畑山 幹男

TEL 03-3293-5686

四半期報告書提出予定日 平成26年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	4,831	1.8	348	27.3	313	34.4	181	30.7
25年3月期第3四半期	4,745	△5.9	273	△22.0	232	△24.0	138	4.9

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 195百万円 (39.2%) 25年3月期第3四半期 140百万円 (11.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	14.26	—
25年3月期第3四半期	10.91	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	8,479	27.0	2,289	27.0	2,289	27.0
25年3月期	8,163	26.4	2,157	26.4	2,157	26.4

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 2,289百万円 25年3月期 2,157百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	5.00	5.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,450	4.5	410	27.5	370	37.9	210	32.1	16.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	12,861,992 株	25年3月期	12,861,992 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	144,877 株	25年3月期	141,958 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	12,718,385 株	25年3月期3Q	12,721,199 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信添付資料3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

## 当期の経営成績

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国で緩やかな景気回復が続き、低迷していた欧州も信用不安が落ち着きを見せ回復の兆しが見えはじめました。また、アジアでは中国をはじめとする新興諸国において経済成長が鈍化する等、全体的には流動的な状況が続きました。国内経済は経済政策や金融政策による株価上昇や円安進行が続き、輸出の改善や国内生産の増加、さらに個人消費が持ち直すなど緩やかに回復し堅調に推移しました。

経営成績については、中核事業のひとつである医療機器事業は、主力のコンドームを取巻く市場環境は依然厳しい状況が続いております。もう一つの主力分野である精密機器事業は、製造関連企業を中心に顧客ニーズに対応すべく積極的な製品開発と提案営業を推進してきました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、48億3千1百万円と前年同四半期と比べ8千5百万円(1.8%)の増加となりました。

利益面につきましては、営業利益は、3億4千8百万円と前年同四半期と比べ7千4百万円(27.3%)の増益となりました。経常利益は、3億1千3百万円と前年同四半期と比べ8千万円(34.4%)の増益となり、四半期純利益は、1億8千1百万円と前年同四半期と比べ4千2百万円(30.7%)の増益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。なお、セグメント損益は、営業利益又は営業損失に基づいております。

## ① 医療機器事業

主力の国内コンドームは、継続的かつ中心的な戦略として位置づけている販売チャネルとしての大型小売店・ドラッグストア・コンビニエンスストア開拓をより重点的に推進しました。常態化した価格競争に伴う価格低下圧力は依然として激しく、原材料全般の継続的な価格高止まりにより収益両面ともに引き続き厳しい展開が続きました。また、プローブカバー(感染予防製品)を中心としたメディカル製品については引き続き堅調に推移しました。

この結果、売上高は、14億6千万円と前年同四半期と比べ8千1百万円(△5.3%)の減少となりました。

セグメント利益は、原材料費のコストアップを生産合理化で吸収しましたが、売上高の伸び悩みもあり、1千万円と前年同四半期と比べ3千8百万円(△78.1%)の減益となりました。

## ② 精密機器事業

主力のショックアブソーバ及びロータリーダンパーは、国内市場において一部の市場を除き受注は堅調に推移しました。主要な市場として位置付け、開拓深耕を続けている住宅設備関連の受注は堅調に推移し、自動車関連、家電の分野でも受注に回復傾向が見られました。海外市場では、大手取引先のある欧州の景気低迷の影響もありましたが受注は回復傾向となり、前年を上回る実績となりました。

この結果、売上高は、29億4千4百万円と前年同四半期と比べ2億7千8百万円(10.4%)の増加となりました。

セグメント利益は、売上高の増加、生産合理化効果等により6億1千8百万円と前年同四半期と比べ1億1千8百万円(23.8%)の増益となりました。

## ③ SP事業

主力のゴム風船が主体となる販促用品市場のニーズ多様化と市場の縮小が続きました。前期より続く広告販促活動・イベント等に回復の傾向が見え、テーマパークでの集客回復等のプラス要因もありましたが、ヘリウムガスの供給不足が続く中、依然として厳しい市場環境となりました。

この結果、売上高は、3億2千9百万円と前年同四半期と比べ1億8百万円(△24.7%)の減少となりました。

セグメント損益は、2千5百万円の損失(前年同四半期は2千5百万円の損失)となりました。

## ④ その他

売上高は、9千6百万円と前年同四半期と比べ2百万円(△2.7%)の減少となりました。

セグメント損益は、5百万円の損失(前年同四半期は3百万円の利益)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間の総資産は、84億7千9百万円となり、前連結会計年度末と比べ3億1千6百万円増加しました。主な要因は、現金及び預金の2億3千3百万円の増加と受取手形及び売掛金の1億4千4百万円の増加によるものであります。

負債総額は61億9千万円となり、前連結会計年度末と比べ1億8千4百万円増加しました。主な要因は、支払手形及び買掛金の6千万円の増加と短期借入金2億2千4百万円の増加や未払法人税等の6千万円の増加、賞与引当金の7千2百万円の減少によるものであります。

純資産総額は22億8千9百万円となり、前連結会計年度末と比べ1億3千1百万円増加しました。主な要因は、配当金の支払いによる6千3百万円の減少はありましたが、四半期純利益の1億8千1百万円の増加により利益剰余金が1億1千7百万円増加したことによるものであります。この結果、自己資本比率は27.0%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって、これら予想数値と異なる可能性があります。なお、通期の業績予想は、平成25年11月8日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,384,636	1,618,396
受取手形及び売掛金	1,684,416	1,828,811
商品及び製品	747,897	631,461
仕掛品	430,525	519,707
原材料及び貯蔵品	541,540	587,918
その他	116,480	59,625
貸倒引当金	△409	△447
流動資産合計	4,905,087	5,245,474
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	829,632	802,796
土地	1,469,852	1,469,852
その他(純額)	423,776	427,338
有形固定資産合計	2,723,261	2,699,987
無形固定資産		
投資その他の資産	47,208	53,559
その他	479,460	474,380
貸倒引当金	△2,628	△2,570
投資その他の資産合計	476,832	471,810
固定資産合計	3,247,301	3,225,357
繰延資産	10,822	9,143
資産合計	8,163,211	8,479,974
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,046,694	1,107,164
短期借入金	808,000	1,032,000
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
1年内返済予定の長期借入金	958,215	911,084
未払法人税等	8,031	68,738
賞与引当金	109,408	36,456
その他の引当金	—	8,654
その他	272,115	318,551
流動負債合計	3,222,465	3,502,649
固定負債		
社債	480,000	470,000
長期借入金	1,578,270	1,532,895
退職給付引当金	328,526	314,713
その他	396,402	370,232
固定負債合計	2,783,199	2,687,841
負債合計	6,005,665	6,190,491

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	643,099	643,099
資本剰余金	248,362	248,362
利益剰余金	966,738	1,084,449
自己株式	△29,870	△30,300
株主資本合計	1,828,330	1,945,611
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27,060	34,281
土地再評価差額金	301,221	301,221
為替換算調整勘定	933	8,367
その他の包括利益累計額合計	329,216	343,871
純資産合計	2,157,546	2,289,482
負債純資産合計	8,163,211	8,479,974

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	4,745,435	4,831,234
売上原価	3,540,242	3,581,671
売上総利益	1,205,192	1,249,563
販売費及び一般管理費	931,510	901,292
営業利益	273,681	348,270
営業外収益		
受取利息	692	461
受取配当金	4,252	4,388
受取賃貸料	11,780	12,101
その他	8,390	8,060
営業外収益合計	25,114	25,011
営業外費用		
支払利息	53,435	46,948
賃貸費用	4,771	4,784
その他	7,647	8,509
営業外費用合計	65,854	60,242
経常利益	232,942	313,039
特別損失		
固定資産除却損	816	7,161
特別損失合計	816	7,161
税金等調整前四半期純利益	232,126	305,877
法人税、住民税及び事業税	4,052	70,523
法人税等調整額	89,333	54,042
法人税等合計	93,386	124,565
少数株主損益調整前四半期純利益	138,739	181,311
四半期純利益	138,739	181,311

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	138,739	181,311
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,950	7,221
為替換算調整勘定	78	7,434
その他の包括利益合計	2,029	14,655
四半期包括利益	140,769	195,966
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	140,769	195,966
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医療機器 事業	精密機器 事業	SP事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	1,542,073	2,666,373	437,925	4,646,372	99,062	4,745,435	—	4,745,435
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,542,073	2,666,373	437,925	4,646,372	99,062	4,745,435	—	4,745,435
セグメント利益 又は損失(△)	49,127	499,962	△25,113	523,976	3,559	527,535	△253,853	273,681

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、電工用手袋事業及び食容器事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△253,853千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医療機器 事業	精密機器 事業	SP事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	1,460,396	2,944,665	329,743	4,734,805	96,429	4,831,234	—	4,831,234
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,460,396	2,944,665	329,743	4,734,805	96,429	4,831,234	—	4,831,234
セグメント利益 又は損失(△)	10,740	618,859	△25,098	604,500	△5,132	599,368	△251,097	348,270

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、電工用手袋事業及び食容器事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△251,097千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。